

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	建築設計製図Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0074		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	建築学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	4	
教科書/教材	教科書:日本建築学会編 コンパクト資料集成(丸善)、みんなの都市計画(脇田祥尚, 理工図書2009,4)				
担当教員	清水 隆宏, 鶴田 佳子, 平野 勝雅				
到達目標					
<p>①様々な社会的問題に対して,建築の計画を通じた提案能力を身につける。 ②CAD,CGを活用した建築表現が出来る。3.自身で考えた計画を,他者に説明できる能力を身につける。 ③自身で考えた計画を,他者に説明できる能力を身につける。 岐阜高専ディプロマポリシー: (A) (B) (D) および (E)</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
1 課題の意図を理解し,的確に企画を立てられる。	課題の意図を理解し,的確に企画を立てられる。	課題の意図をほぼ理解し,企画を立てられる。	課題の意図を理解し,的確に企画を立てることができない。		
2 創造的かつ整合性のとれた計画を作成できる。	創造的かつ整合性のとれた計画を作成できる。	創造的かつ整合性のとれた計画をほぼ作成できる。	造的かつ整合性のとれた計画を作成することができない。		
3 デジタルツールを用いて的確で美しい表現ができる。	デジタルツールを用いて,的確で美しい表現ができる。	デジタルツールを用いて,ほぼ的確で美しい表現ができる。	デジタルツールを用いて,的確で美しい表現ができない。		
4 相手に的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる。	相手に的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる。	相手に的確に意図を伝えるプレゼンテーションがほぼできる。	相手に的確に意図を伝えるプレゼンテーションができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	建築設計製図Ⅱにおいては,建築単体に留まるのではなく,地域や社会をよりよい方向に向けていく為の提案性を持ったデザイン能力を習得する。				
授業の進め方・方法	第1課題は前期前半に第1課題「複合施設設計」、後期前半に第2課題「まちづくり計画」、後期後半に第3課題「地域課題解決のための施設設計」を実施する。各課題ごとに別の教員が担当する。 (事前準備の学習)課題に対応した内容について,建築計画や地域都市計画の復習をしておくこと。 英語導入計画: Technical Terms				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題対象地への見学会,地元住民等に対するプレゼンテーションを行う際は,積極的に取り組むこと。 ・普段から,建築やデザインに留まらず,様々な社会の情報に目を通し,自らの考えを養うこと。 ・自らスケジュールを立てて,期限内にゆとりを持って間に合うように計画を進めること。 ・CAD等を活用して積極的に情報機器利用の熟達に励むこと。 ・建築関係の諸雑誌等に常に目を通し,情報を収集すること,また,建築設計製図Ⅱでは,社会性を持った課題が設定されるので,日頃から新聞等のメディアを通じて,社会や地域の状況を把握すること。 <p>※各課題の成績確定後の再提出,再評価は行わないので,それぞれの課題に真剣に取り組むこと。 なお,成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 授業の内容を確実に身につけるために,予習・復習が必須である。</p>				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	【第1課題】複合空間の計画(担当:清水) 第1回:課題提示,趣旨説明(ALのレベルC)	課題趣旨を理解する。(教室外学修)課題趣旨をまとめる。	
		2週	空間の設定・資料の収集(ALのレベルC)	創造する空間の設定を行なう。(教室外学修)創造する空間の考えをまとめる。	
		3週	空間の設定・資料の収集(ALのレベルC)	創造する空間の設定を行なう。(教室外学修)創造する空間の考えをまとめる。	
		4週	空間の設定・資料の収集(ALのレベルC)	創造する空間に関する資料の収集をする。(教室外学修)関連資料をまとめる。	
		5週	空間の設定・資料の収集(ALのレベルC)	創造する空間に関する資料の収集をする。(教室外学修)関連資料をまとめる。	
		6週	エスキースチェック1(コンセプト・基本計画の検討)(ALのレベルC)	コンセプト・基本計画を検討する。(教室外学修)コンセプト・基本計画をまとめる。	
		7週	エスキースチェック1(コンセプト・基本計画の検討)(ALのレベルC)	コンセプト・基本計画を検討する。(教室外学修)コンセプト・基本計画をまとめる。	
		8週	エスキースチェック2(スタディ模型などによる検討)(ALのレベルC)	スタディ模型などによって検討する。(教室外学修)スタディ模型などによってイメージをまとめる。	
	2ndQ	9週	エスキースチェック3(平面図・立面図の検討)(ALのレベルC)	平面図・立面図を検討する。(教室外学修)平面図・立面図をまとめる。	
		10週	エスキースチェック3(平面図・立面図の検討)(ALのレベルC)	平面図・立面図を検討する。(教室外学修)平面図・立面図をまとめる。	
		11週	エスキースチェック4(断面図・パースの検討)(ALのレベルC)	断面図・パースを検討する。(教室外学修)断面図・パースをまとめる。	
		12週	エスキースチェック4(断面図・パースの検討)(ALのレベルC)	断面図・パースを検討する。(教室外学修)断面図・パースをまとめる。	
		13週	エスキースチェック5(プレゼンテーションの検討)(ALのレベルC)	プレゼンテーションを検討する。(教室外学修)プレゼンテーションをまとめる。	
		14週	エスキースチェック5(プレゼンテーションの検討)(ALのレベルC)	プレゼンテーションを検討する。(教室外学修)プレゼンテーションをまとめる。	

		15週	講評会(プレゼンテーション) (ALのレベルA)	講評会に参加する。
		16週		
後期	3rdQ	1週	【第2課題】地域課題解決にむけたまちづくり計画 (担当:鶴田)課題趣旨説明 (ALのレベルC)	課題趣旨を理解する。(教室外学修) 課題趣旨をまとめる。
		2週	地域課題の把握(ワークショップ形式による討論と発表) (ALのレベルA)	地域課題の把握を行なう。(教室外学修) 地域の課題をまとめる。
		3週	地域課題プレゼンテーション作品の作成 (30点) (ALのレベルC)	地域課題プレゼンテーション作品を作成する。(教室外学修) プレゼンテーション作品をまとめる。
		4週	地域課題プレゼンテーション作品の作成 (30点) (ALのレベルC)	地域課題プレゼンテーション作品を作成する。(教室外学修) プレゼンテーション作品をまとめる。
		5週	まちづくりコンセプトの検討 (ALのレベルC)	まちづくりコンセプトを検討する。(教室外学修) まちづくりコンセプトをまとめる。
		6週	まちづくり計画の作成(70点) (ALのレベルC)	まちづくり計画を作成する。(教室外学修) まちづくり計画をまとめる。
		7週	まちづくり計画の作成(70点) (ALのレベルC)	まちづくり計画を作成する。(教室外学修) まちづくり計画をまとめる。
		8週	まちづくり計画の作成(70点) (ALのレベルC)	まちづくり計画を作成する。(教室外学修) まちづくり計画をまとめる。
	4thQ	9週	【第3課題】地域課題解決のための施設設計 (担当:平野) 課題説明 (ALのレベルB)	課題趣旨を理解する。(教室外学修) 課題趣旨をまとめる。
		10週	エスキースチェック (計画コンセプト) (ALのレベルC)	計画コンセプトを検討する。(教室外学修) 計画コンセプトをまとめる。
		11週	エスキースチェック (建築平面図) (ALのレベルC)	建築平面図を検討する。(教室外学修) 建築平面図をまとめる。
		12週	エスキースチェック (建築立面図・断面図) (ALのレベルC)	建築立面図・断面図を検討する。(教室外学修) 建築立面図・断面図をまとめる。
		13週	エスキースチェック (詳細計画) (ALのレベルC)	詳細計画を検討する。(教室外学修) 詳細計画をまとめる。
		14週	プレゼンテーションチェック (ALのレベルC)	プレゼンテーションを検討する。(教室外学修) プレゼンテーションをまとめる。
		15週	講評会(プレゼンテーション) (ALのレベルA)	講評会に参加する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	4	
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	4	
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	4	
				立体的な発想とその表現(例えば、正投影、単面投影、透視投影などを用い)ができる。	4	
				ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	4	
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	4	
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	4	
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	4	
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	4	
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	4	
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	4	
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。	4	
建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	4					
建築における形態(ものの形)について説明できる。	4					

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	300	0	300
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	300	0	300
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0